

安全管理マニュアル

クスリ凸凹 (DEKOBOKO)旅行舎

2014年12月1日施行

2018年3月31日改定

クスリ凸凹 (DEKOBOKO)旅行舎が企画・催行するアウトドアプログラムに関する安全対策は、参加者の安全確保を図るため、参加者自身の自己責任での措置とともに、下記の安全管理マニュアルによる対策を施し、安心安全なアウトドア活動の実施を図るものとする。

1 事故を未然に防ぐための安全対策

1.1 企画段階における安全対策の方針

- 1.1.1 当舎に関するプログラム作成にあたっては、参加者の安全を第一に企画立案を図るものとする。
- 1.1.2 実施場所の条件、緊急時のバックアップ体制の確保、催行時の気象条件等を勘案し、余裕のあるプログラム設計につとめる。
- 1.1.3 事業の中止にそなえて、可能な限り代替プログラムを作成する。

1.2 事前準備段階における安全対策

- 1.2.1 事前の実地踏査(下見)をおこない、現地の状況把握につとめる。
- 1.2.2 下見による計画の見直し、実施体制、事前説明事項、用具・設備の確認、緊急時対応の確認、保険加入状況等を整理する。
- 1.2.3 上記の確認事項を「事前準備確認書」に記録する。
- 1.2.4 参加者への説明。
 - 1) 事業内容の概要をホームページに掲載する。
 - 2) メール・電話等で参加者への個別問合せをおこなう。(参加者の希望、体力、体調、体質等の確認)
 - 3) 事前告知による参加同意の意向確認をおこなう。(メール又は当日事前)
 - 4) 実施前に参加者への安全事項に関する説明をおこなう。

2 実施段階における安全対策

2.1 気象状況の把握と事業実施の可否判断

- 2.1.1 気象情報の収集につとめ、可能な限り現地情報を把握する。
- 2.1.2 現地に気象に関する警報が発令された場合及び雷注意報等危険が想定される予報が発令された場合は、事業の中止もしくは代替事業の実施に変更する。
- 2.1.3 参加者の体調の確認により、体調不良者が発生した場合は、事業への参加断念を要請する。

2.2 措置項目の確認と記録

2.2.1 事業実施前後の内容確認、事業精査をおこない、以後の対応を図る。

2.2.2 上記結果を報告書面で保存する。

3 事故発生時の対応

3.1 事故発生対応

3.1.1 事故発生においては、傷病者の保護、参加者の安全確保、初期救急に努めるとともに、関係機関との連絡により、迅速な救急措置をおこなう。

3.2 緊急連絡体制

3.2.1 別紙「緊急連絡体制」による

3.3 バックアップ体制

3.3.1 別紙「緊急連絡体制(バックアップ体制)」による

4 安全対策の強化策

4.1 安全管理チェックリスト

4.1.1 安全対策チェック項目

(準備に関して)

- 気象状況について把握しているか？
- 活動内容の再確認はおこなったか？
- 危険箇所の再確認はおこなったか？
- 必要用具・装備の再点検はおこなったか？
- 緊急連絡先(救急機関)の確認はしたか？
- 通信機器の確認はしたか？
- 非常用食料の確認はしたか？
- 対象フィールドの自然を阻害していないか？

(参加者に関して)

- 事業開始時の人数確認はしたか？
- 安全に関する説明はしたか？
- 到着時の人数確認はしたか？
- 活動開始、終了時点での人数確認はしたか？
- 心身の状態確認はしたか？
- 服装などの指導はしたか？
- スタッフの安全措置、健康チェックはしたか？

4.1.2 道具装備の保有チェックリスト

- 4.1.2.1 別紙「道具装備類保有チェックリスト」
- 4.1.3 「ヒヤリハット報告書」及び「催行報告書」の作成様式
 - 4.1.3.1 別紙「危機管理ファイル様式」による

4.2 保険加入体制

- 4.2.1 別紙「保険加入体制」による

4.3 安全対策等に関するスキルアップ対応

- 4.3.1 一般社団法人北海道体験観光協議会が開催するアウトドア研修への参加

- 4.3.2 資格発効団体の主催する更新及びスキルアップ講座等への参加

(現有資格一覧)

- ・北海道アウトドアガイド(自然ガイド)認定第 1055 号
- ・北海道アウトドアガイド優良事業者認定第 17 号
- ・北海道フードマイスター認定第 A18-0129 号
- ・くしろ検定上級資格認定第 S03-0023 号
- ・観光英語検定 GRADE2 Certificate NO.22999000100001
- ・日本英語検定 2 級資格者
- ・上級救命講習終了第 922 号
- ・普通2種免許第 137600962910 号

- 4.3.3 所属団体が主催する研修への参加

(所属団体一覧)

- ・NPO 法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 会員
- ・一般社団法人釧路観光コンベンション協会 会員
- ・NPO 法人釧路湿原やちの会 会員
- ・NPO 法人阿寒湖のマリモ保護会 会員
- ・阿寒クラシックトレイル研究会 会員
- ・根室市観光協会 会員

クスリ凸凹 (DEKOBOKO)旅行舎 緊急連絡体制

項目	連絡先	電話番号	連絡者	
緊急時	当舎待機(釧路市自宅事務所)	TEL0154-37-6513	塩 幸子	
		TEL090-6213-6569	塩 幸子	
	釧路警察署	110		
	釧路市消防本部	119		
バックアップ体制	釧路エリア	釧路湿原やちの会	090-5220-9779	岩間貴美子
		釧路観光コンベンション協会	0154-31-1994	
	阿寒エリア	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	080-5580-1516	
		(有)阿寒ネイチャーセンター	090-3892-9751	安井 岳
		(有)阿寒観光ハイヤー	090-4819-3729	松岡篤寛
根室エリア	根室市観光協会	0153-24-3104		
医療体制	全体エリア	救急医療情報案内センター	011-221-8699	
	阿寒エリア	北海道立阿寒湖畔診療所	0154-67-2774	
		市立釧路国民健康保険 阿寒診療所	0154-66-3031	

保険加入体制 クスリ凸凹 (DEKOBOKO)旅行舎

連絡体制			
氏名	氏名・住所	連絡先・責任者	
契約者	クスリ凸凹 (DEKOBOKO)旅行舎 代表 塩博文 釧路市美原3-58-8	TEL0154-37-6513 塩博文	
契約先	(株)損害保険ジャパン	事故サポートセンター TEL0120-727-110	
取扱い代理店	(株)北海道ジャパンサポート 東北海道支店釧路支社 釧路市芦野2-17-1	TEL0154-38-1511 代表取締役 金子隆俊	担当 八城 徹
保険内容			
保険種類	補償内容	保険金額	備考
傷害	死亡・後遺障害	7,150千円	
	入院日額	9,000円	
	通院日額	5,000円	
賠償	賠償対人1名あたり	1億円	
	賠償対人1事故あたり	5億円	
	賠償対物1事故あたり	5,000万円	